

会告

- 平成 30 年度各賞受賞候補者の推薦について
- Mate2019 第 25 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
—ものづくりの未来に向けたエレクトロニクス生産科学の新たな挑戦— 参加者募集
- ミニ研究会 会員募集
「インフラ構造物における溶接補修適用のための技術的課題抽出と解決法の探索」
- 一般社団法人溶接学会第 87 回通常総会並びに平成 31 年度春季全国大会開催通知
- 学生会員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
- 溶接学会主催行事予定について
- 溶接学会誌、全国大会講演概要集 J-STAGE 電子版の一般公開制限について
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- WEB 掲載の溶接学会論文集 36 巻（平成 30 年度）の印刷物の購入について
- 平成 31 年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成30年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成 30 年度 佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がおられましたら、所定の推薦書（本会 HP より入手下さい）によりご推薦下さいませようお願いいたします。

項目	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞	妹島賞
授賞対象	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。	溶接技術の開発または応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著なもの及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著なもの。	溶接プロセス（ハード及びソフト）に関する技術開発並びにその応用に尽力し、生産（製造）分野で多大な貢献のあったもの（個人又は団体）。
候補者資格	本会会員	本会会員に限らない			
推薦者資格	本会会員				
推薦手続	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部を学会長宛（溶接学会事務局）に提出する。 イ. 候補者の氏名、職業・勤務先・役職名 ロ. 候補者の略歴 ハ. 賞を受けんとする業績の詳細（裏付となる資料を添付） ニ. 推薦者の氏名、連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けんとする業績の詳細を添付する。				
推薦書提出期限	平成 30 年 12 月 31 日			平成 31 年 1 月 31 日	
授賞年月日	平成 31 年 4 月 17 日 予定（第 87 回通常総会）				
その他	多年にわたる業績をお考え下さい。年齢に制限はありませんが、溶接に通算 15 年以上関与したことを原則とします。また、その業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	佐々木賞が多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付して下さい。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発並びに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年齢は 45 才以下であることを原則とします。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。 ※受賞時には、本会会員であることが必要です。	故 妹島五彦君による寄贈基金で運用されており、妹島君が活躍された溶接プロセス分野の業績をお考え下さい。

Mate2019 第25回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム

—ものづくりの未来に向けたエレクトロニクス生産科学の新たな挑戦— **参加者募集**

日 時：平成30年1月29日(火) 8:50～17:20
1月30日(水) 9:00～16:50

会 場：パシフィコ横浜 会議センター
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

主 催：(一社)スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会
(一社)溶接学会 マイクロ接合研究委員会

共 催：(一社)エレクトロニクス実装学会
(公社)化学工学会 エレクトロニクス部会
(一社)レーザ加工学会

協 賛：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本溶接協会

<開催趣旨>

日本のエレクトロニクス産業は、この20年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルな最適化とそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

【シンポジウム参加登録費（論文集代を含む）】

- 主催団体個人会員 : 20,000円
- 大学・国公立研究機関 : 20,000円
- 口頭発表者・座長 : 20,000円
- 主催団体維持・賛助会員 : 25,000円
- 共催団体会員 : 25,000円
- 協賛団体会員 : 30,000円
- 一般 : 35,000円
- 学生 : 10,000円

●依頼講演＋一般論文発表＋ポスター発表

1月29日(火) 8:50～17:20	1月30日(水) 9:00～16:50
[A-1] パワーデバイス(1) (4件) [A-2] パワーデバイス(2) (6件) [B-1] パッケージ (4件) [B-2] 回路基板 (依頼1件＋一般4件) [C-1] ソルダリング(1) (4件) [C-2] 熱マネジメント (5件) プレナリーセッション 13:30～ ポスタープレゼン 15:40～ ポスターセッション 16:20～ 懇親会 17:40～	[A-3] ナノ・マイクロマテリアル (5件) [A-4] 信頼性 (5件) [A-5] パワーデバイス(3) (4件) [A-6] パワーデバイス(4) (4件) [B-3] 有機/無機(1) (依頼1件＋一般3件) [B-4] 有機/無機(2) (5件) [B-5] MEMS (4件) [B-6] プリンタブルエレクトロニクス (4件) [C-3] 生産・製品システム (依頼1件＋一般3件) [C-4] ソルダリング(2) (5件) [C-5] マイクロ接合・加工(1) (4件) [C-6] マイクロ接合・加工(2) (4件) (依頼講演3件＋一般論文発表77件 合計80件)

【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウム URL より、平成31年1月11日(金)までに参加登録を行って下さい。

<http://sps-mste.jp/mate2019/src/> (11月中受付開始)

○参加費は銀行振込にてお支払いいただき、当日現金でのお支払いはできるだけご遠慮願います。

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通0978673

口座名：Mate組織委員会 [メイトソシキインカイ]

振込期日：平成31年2月28日(木)

○シンポジウム1日目に懇親会を開催します。シンポジウム参加申込時にお申し込みください。

懇親会参加費：5,000円

【問合せ、申込先】 Mate 2019 事務局

(ものづくりリエゾンオフィス (MLO) 内)

TEL：06-6878-5628 FAX：06-6879-7568

E-mail：mate@sps-mste.jp

シンポジウム URL：

<http://sps-mste.jp/mate2019/src/>

【予定プログラム（セッション名と発表件数）】

●プレナリーセッション (1月29日(火) 13:30～15:30)

テーマ 「ものづくりの未来に向けたエレクトロニクス生産科学の新たな挑戦」

1. 生物に学ぶ形作りの裏技について：

近藤 滋氏 大阪大学

2. 最新のものづくり - 新たな価値の提供：

小原 英夫氏 パナソニック株式会社

ミニ研究会 会員募集 「インフラ構造物における溶接補修適用のための技術的課題抽出と解決法の探索」

1. 趣旨

経年化、老朽化が進行する社会インフラを適切に維持管理し長期的に供用していくことは、安全・安心な国民生活を担保するために不可欠な課題となってきています。インフラ鋼構造物における疲労き裂や腐食減厚などの損傷に対し、補修補強を施すための接合技術として、高力ボルト接合や接着接合の適用例がある一方で、構造物への入熱の影響、欠陥が新たな損傷の起点になるおそれがあるといった懸念から、溶接接合の適用が少ないのが現状です。しかし、き裂の埋戻しや、軽量で簡便に補強部材が接合できることなど、溶接を補修補強に適用する利点も期待されます。本研究では、インフラ構造物の維持管理、補修補強における部材接合の選択肢としての溶接の信頼性を向上させ、合理的な補修補強施工を可能にするための基礎的検討を実施します。

2. 活動内容

インフラ構造物において、過去に溶接補修が実施された事例を調査するとともに、インフラ維持管理現場に携わる技術者へのヒアリングを通じて、溶接補修の適用が効果的となることが期待される損傷の部位、種類を明確にし、検討対象のターゲットを絞りこみます。検討対象に溶接補修を適用する際に想定される技術的課題を抽出し、その解決法を探索します。経年鋼構造物への溶接の可否、拘束や応力作用下での溶接補修、レーザー溶接など革新的技術のインフラ補修施工への適用性などを検証します。

3. 活動期間

2019年3月～2020年2月

4. 組織

主査：廣畑幹人（大阪大学大学院工学研究科）
副査：高嶋康人（大阪大学接合科学研究所）
幹事：岡野成威（大阪大学大学院工学研究科）
委員：清水 優（名古屋大学大学院工学研究科）
錫田 駿（大阪大学接合科学研究所）
吉田善紀（鉄道総合技術研究所）
岡本亮二（阪神高速技術）
永木勇人（高田機工）
松本直幸（IHI）
川本裕晃（神戸製鋼所）
上野慶太（エム・エムブリッジ）

5. 参加資格

- ・インフラ構造物の維持管理、補修補強について関心があり、情報交換に積極的に参加できる方。
 - ・当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある若手研究者、技術者（産官学）。
 - ・インフラ構造物の補修施工に関する情報提供、材料の観察、分析、基礎的な実験、数値シミュレーションの実施など、可能な範囲で協力いただける方。
- ※溶接学会会員、賛助員企業の参加はもとより、他学会に所属する研究者、技術者の参加も歓迎します。

6. 問合せ・申込先

氏名、所属、部署、職名、連絡先（住所、TEL、e-mail）、専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。
廣畑幹人（大阪大学大学院工学研究科 准教授）
E-mail: hirohata@civil.eng.osaka-u.ac.jp

一般社団法人溶接学会第87回通常総会並びに平成31年度春季全国大会開催通知

第87回通常総会並びに平成31年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

【第87回通常総会】

日 時：平成31年4月17日(水) 10:30～12:00（予定）
場 所：学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂
議 題：平成30年度事業報告、平成30年度決算報告

【平成31年度春季全国大会】

期 日：平成31年4月17日(水)、18日(木)、19日(金)
場 所：学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂
講演会プログラムはホームページに掲載いたします。
<http://jweld.jp/index.html>
全国大会参加費：(概要ダウンロード権を含む)
正員・賛助員 10,000円(不課税) 学生員 5,000円(不課税)
非会員(学生)10,000円(税込) 非会員(学生以外)20,000円(税込)

学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおりJ-STAGEによる学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。この度、平成29年4月から学生員については、学会誌の冊子送付を廃止し、J-STAGE電子版を閲覧いただくことになりました。（平成28年12月19日理事会決議）

溶接学会誌のJ-STAGE電子版は、会員特典を考慮し、発刊後5年以内は会員限定閲覧で、5年より以前のは一般公開となります。

したがって、学会誌のJ-STAGE電子版を閲覧いただくには、「会員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」（溶接学会HP右上）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

なお、学会誌掲載の会報・会告につきましては、溶接学会HPにて、閲覧できるようにいたします。

● 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会 HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。
URL は、<http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>

● 溶接学会誌、全国大会講演概要集 J-STAGE 電子版の一般公開制限について

学会会員特典をより明確にするために、J-STAGE 電子版の一般公開制限について、溶接学会誌はこれまでの発刊後 3 年を 5 年に、全国大会講演概要集はこれまでの全国大会終了後 2 ヶ月を 5 年に延長することになりました。その期間は、会員閲覧認証登録された個人会員への限定公開となります。その期間の溶接学会誌、全国大会講演概要集 J-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会員閲

覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」（溶接学会 HP 右上）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。（通常、申請された翌月中旬から閲覧が可能となります。事務局からメールでお知らせいたします。）

● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を開設しております。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、マイページにアクセスしていただき、下記の操作（約 5 ～ 10 分）をお願いいたします。

- ① ログイン → ② 会員情報確認・変更 → ③ パスワード変更 → ④ マイページ内の完了ボタン（会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押して下さい）

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会 HP からログインできます。

詳細なマニュアルは、溶接学会 HP トップページ右のマイページログインから会員専用ページ右のボタンをクリックし、ダウンロードのうえご利用ください。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。
また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。
（マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください）

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● WEB掲載の溶接学会論文集 36 巻（平成 30 年度）の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものをご購入される方は、下記により、平成 31 年 3 月 31 日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 36 巻（平成 30 年度）

【価格】 15,500 円／冊（税込・送料別）

【申込先】 「お名前（会社名）」「送付先住所」「冊数」
をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社 TEL：06-6441-0075

FAX：06-6443-5815

平成31年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成31年度春季全国大会講演概要

価 格：12,000円（税・送料込）

発送時期：平成31年6月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成31年5月10日（金）

入金締切：平成31年5月31日（金）

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

平成30・31年度編集委員

（委員長）伊藤 和博 （副委員長）柴柳 敏哉

（委員）池田 倫正、石川 清康、井上 裕滋、猪瀬幸太郎、伊與田宗慶、梅原 悠、大橋 良司、大畑 充、荻野 陽輔、河西 龍、笠野 和輝、門井 浩太、門田 圭二、萱森 陽一、小山 真司、銭谷 哲、田川 哲哉、中谷 光良、西川 宏、平野 聡、藤田 善宏、富士本博紀、松田 広志、三上 欣希、三瓶 和久、三橋 克広、宮坂 史和

溶接学会誌 第88巻 第1号

平成31年1月1日 印刷

平成31年1月5日 発行

編集兼発行者 小 熊 輝 男
東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

印刷者 日本印刷出版株式会社
大阪市福島区吉野1の2の7

発行所 一般社団法人 溶 接 学 会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

電話 03(5825)4073

FAX 03(5825)4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>